

まほろば秦野通信

令和5年10月20日

タイトル	講演会 前田夕暮と読む万葉集 情熱の歌人・狭野弟上娘子の歌を開催します <small>さ の お と か み の を と め</small>
When (いつ)	11月5日(日曜日) 14:00～15:30 ※当日の取材をご希望の場合は、図書館にご連絡ください。
Where (どこで)	図書館2階 視聴覚室 (所在地: 秦野市平沢94-1)
Who (だれが)	【講師】寺尾 登志子 氏* *歌人で歌誌「りとむ」編集委員、跡見学園女子大学講師を務めています。
What (なにを)	【内容】前田夕暮が注目した万葉歌人・狭野弟上娘子の情熱的な歌を読み解いていきます。
How (どのように)	【定員】60人(申し込み先着順) 【申し込み】図書館に電話
Why (なぜ)	前田夕暮の生誕140周年と11月1日の「古典の日」を記念するとともに、市民が古典や文学を親しめる機会を提供するため。
過去の実績	・平成26年度から実施 ・令和3年度「ようこそ!『お伽草子』の世界へ—躍動する「申し子」たち—」 ・令和4年度「中世和歌の世界—『百人一首』を中心に—」
今後の取り組み	今後も引き続き古典や文学等に関する講演会を開催する予定です。
ホームページ URL	https://library-hadano.jp/news/
問い合わせ	図書館 担当: 山口 電話: 0463(81)7012



前田夕暮生誕一四〇周年記念

古典の日・文学講演会

前田夕暮と読む万葉集

—情熱の歌人・狭野弟上娘子の歌さのおとのかみのをとめ

講師 寺尾登志子氏



日時 令和5年

11月5日(日)

午後2時開演

(午後1時45分開場)

会場 秦野市立図書館
視聴覚室

定員 60人

(申込み先着順)

申込み・問い合わせ 秦野市立図書館 電話0463-81-7012

寺尾登志子先生プロフィール

歌人、跡見学園女子大学講師 りとむ短歌会編集委員

美夫君志会会員 川崎市民講座・「万葉の風」講師

万葉集に関する著作

専修大学人文科学研究所月報 287号

「人麻呂の近江荒都歌をめぐって一作者の創意と時代背景」

専修大学人文科学研究所月報 294号

「海原に浮き寝せむ夜は一瀬戸内海の万葉秀歌」

狭野茅上娘子

生没年不詳『万葉集』の女流歌人。茅上は弟上に作る本もある。『万葉集』一五の目録に蔵部女孀とあるが、蔵部は不明。天平十一年(七三九)ごろ、すでに結婚していた中臣宅守が越前に流され、この事件をめぐって二人の間でよみ交わされた歌が『万葉集』一五の後半に一括して収録されている。娘子の歌は二十三首あり、宅守への激しい愛情を強い調子で歌い上げている点高く評価されているが、誇張やわざとらしさも認められる。

『国史大辞典』6 吉川弘文館 刊より引用

※ 前田夕暮が「詩歌」誌上で注目した狭野弟上娘子の歌のいくつかを紹介します。

あしひきの山道越えむとする君を心に持ちて安けくもなし

君が行く道のながてを繰り^く畳^{たた}ね焼きほろぼさむ天の火もがも

我が屋戸^{やど}の松の葉見^あつつ吾待^{あれ}たむ早帰りませ恋ひ死なむとに
など

秦野市立図書館

住所：秦野市平沢94-1

電話：0463-81-7012

<https://library-hadano.jp/>

■秦野駅（北口）から

秦08系統「桜土手経由渋沢駅北口行」--文化会館前下車 すぐ

秦11系統「富士見橋経由高砂車庫行」---カルチャーパーク前下車 徒歩 10分

■渋沢駅（北口）から

秦08系統「桜土手経由秦野駅行」-----文化会館前下車 すぐ